

千葉市中学校陸上競技記録会 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

【大会運営について】

- 密を避けるために8月8日（1日目）を男子種目・8月9日（2日目）を女子種目の実施とする。
なお、1日目は女子選手の観戦及び練習は禁止、2日目は男子選手の観戦及び練習は禁止とする。
- 大会は無観客とする。（保護者・応援生徒・付き添いの入場禁止）
- 生徒役員の配置はしない。
- 卒業アルバム対応としてカメラマン業者を入れたい場合には、大会開催1週間前までに本協会へ問い合わせをして許可を得ること。なお、カメラマンは大会当日朝に本部へ身分証を提示し、撮影許可を得た上で本部で渡されるスタッフビブスを着用すること。また、マスクを必ず着用すること。
- 65歳以上の競技役員の委嘱は原則しない。
- 競技役員は競技役員受付で当日の検温を申告する。
- 全ての大会関係者はマスクを着用する。但し、競技中の選手についてはマスクの着用はしなくても良い。また、熱中症には十分注意する。
- 競技役員への水分補給は、各自で持参する。お弁当のお茶は提供する。
- 更衣室・雨天練習場は選手及び競技役員の控え場所とする。荷物の管理は各自で責任を持つこと。
コインロッカーは使用可。
- 競技場の換気をするために全ての窓は開放する。
- 大会関係者・選手が使用する各部屋やトイレなどはこまめに消毒をする。
- 雨天練習場の水道に石鹸を用意し、選手、競技役員の手洗い場とする。
- 選手控え場所は、陸上競技場メインスタンド、芝生スタンド、陸上競技場周辺（競技場に面したアスファルト上）とする。必ずソーシャルディスタンスを保つこと。
- 記録の発表は、掲示場所を広げて貼り出すようにする。
- 選手は競技終了後、直ちに帰宅すること。
- 多くの選手が使用した用器具については消毒を行う。

【競技運営について】

- 選手は、大会本部より事前に出された健康管理チェックシート（大会前1週間前の検温と体調チェック）と大会出場承諾書（保護者の承諾と大会前日夜の検温・大会当日朝の検温）を、大会当日朝に顧問経由で大会本部に提出する。未提出者については参加することはできない。
- 選手は TIC で健康管理チェックシートと大会出場承諾書を顧問に提出し、受付プログラムに出場する意志を表示する（自分の名前に○印を付ける＝招集完了とする）
- 招集係は TIC からの情報で招集作業を行う。
- 選手は競技中以外はマスクを着用すること。
- 出場選手は、競技時間の15分前に下記の場所に集合する。（ソーシャルディスタンスを意識する）
トラック競技はレーンナンバーを受け取り、右腰に付けた後、出発係の指示で競技場に入場する。
荷物はその場所に置いておく。選手の荷物の運搬は行わない。

- | | |
|---------------------------|----------|
| ◇100m・100mH・110mH・400mR4走 | 第4ゲート外側 |
| ◇200m・3000m・400mR3走 | 第3ゲート外側 |
| ◇1500m・400mR2走 | 第2ゲート外側 |
| ◇400m・800m・400mR1走 | 第1ゲート外側 |
| ◇走高跳 | 走高跳跳躍ピット |
| ◇棒高跳 | 棒高跳跳躍ピット |
| ◇走幅跳 | 走幅跳跳躍ピット |
| ◇砲丸投 | 砲丸投投擲ピット |
- トラック競技でスターティングブロックを使用する種目に出場する選手は、設置前に主催者で用意したアルコール消毒液（ジェル）で手指消毒をアルコール消毒する。
 - 密を避けるため1500m・3000mの1組の人数は1500mは12名、3000mは18名（グループスタート）で行う。
 - トラック競技はレース終了後、レーンナンバーを外しかごに入れる。その後、雨天練習場にて洗顔・手洗いをしてスタート付近に戻り荷物を持ち帰ること。
 - 棒高跳・砲丸投で使用する滑り止めは主催者では用意しないので各自で準備する。滑り止めを他人と共有はしない。
 - リレーで使用するバトンと砲丸投で使用する砲丸は、競技・試技ごとに消毒する。
 - リレーで使用するダッシュマークは、各校で準備し、競技後に各校で回収する。
 - 通常の表彰は行わない。賞状については大会終了後、顧問が放送室にまとめて取りに来る。

以上のように感染の可能性を極力避けるために入念な対策で大会運営に臨みますが、それでも100%の感染防止をすとお約束することは難しいと思われます。万が一新型コロナウイルスに感染してしまったとしても、主催者としては責任を負うことはできない点をご了承ください。
